

# JGGA NEWS



2012年(平成24年)2月 **46号**

## CONTENTS

---

- **トピックス**
    - 後発医薬品も追加引き下げ、一律0.3%程度…………… 1
  - **リレー随想** (下村 健三) …………… 3
  - **お知らせ**
    - 平成24年新年講演会・祝賀会報告…………… 5
    - 山形県「ジェネリック医薬品安心使用セミナー」…………… 6
    - 各学術大会・イベントへの参加予定について …………… 8
  - **活動案内** …………… 10
-



## 後発医薬品も追加引き下げ、一律0.3%程度

2012年度の薬価制度改革で、後発医薬品の薬価の追加引き下げが実施されることになった。すべての既記載後発医薬品が薬価調査結果に基づく通常改定に加え、一律0.3%程度の追加引き下げを受ける。次期改革では新規後発医薬品への6掛けルールの一部導入なども決まっており、後発医薬品業界にとっては既記載後発医薬品、新規後発医薬品ともに厳しい見直しが行われることになる。

中医協は昨年12月、後発医薬品の使用が政府目標と比べ遅れている分を一定程度埋め合わせる必要があるなどとして、12年度薬価制度改革で「長期収載品等」の追加下げを行うことを決めた。

引き下げ率や薬剤費削減額は厚生労働、財務両省の大臣折衝で決定。厚生労働省は前回10年度改定（約2.2%、約600億円）を下回る1%未満（約250億円）、財務省は10%程度（約2,400億円）をそれぞれ要求し、両省の主張には大きな隔たりがあったが、結局、約0.9%（約250億円）と厚生労働省の主張を丸飲みする形で決着した。政府関係者は「過重な引き下げへの反対を盛り込んだ民主党厚生労働部門会議の決議文を踏まえた政調会長の判断が影響した。与党内に財務省の味方が少なかった」とその理由を明かす。

また当初は、長期収載品の追加引き下げ（約0.9%）のみで250億円を捻出するとみられていたが、▽後発医薬品使用の目標未達分の精算を先発医薬品企業だけでなく、後発医薬品企業にも一定程度負担してもらう▽長期収載品だけを下げれば後発医薬品との価格差が縮まり後発医薬品使用が進みにくくなる▽中医協で既記載後発医薬品の薬価も下げるべきとする意見があった—ことから、最終段階で後発医薬品も追加下げの対象に加えることになった。後発医薬品業界は反対を表明したが受け入れられなかった。

その結果、250億円のうち225億円は長期収載品、残りの25億円を後発医薬品の追加下げで捻出することになった。厚生労働省は追加下げの配分を「長期収載品225億円、後発品25億円」とした理由について、「もともと議論されていた

のが長期収載品の引き下げだったことや、それぞれの企業規模や市場規模などを総合的に勘案して決定した」と説明している。

引き下げ率は、長期収載品は「0.9%程度」（分母は長期収載品薬剤費）、後発医薬品は「0.3%程度」（分母は後発医薬品薬剤費）になるという。

長期収載品の引き下げ率は、250億円を長期収載品のみで捻出することが想定されていたときとほとんど変わらないが、長期収載品薬剤費約2兆6,400億円、薬剤費削減額225億円で試算すると引き下げ率は約0.85%となり、250億円を全て長期収載品で捻出する場合（約0.94%）よりも若干小さくなる。

一方、後発医薬品薬剤費約7,400億円、薬剤費削減額25億円で試算した場合の後発医薬品追加下げ率は約0.33%となる。

日本ジェネリック製薬協会は、後発医薬品の追加下げが決まったことについて「極めて遺憾であり、到底受け入れることはできない」とコメントしている。



## 平成24年、辰(たつ)年に思う事

株式会社陽進堂

代表取締役 下村 健三

平成23年12月14日に日本ジェネリック製薬協会総務委員会広報部会より、JGAニュース2月号「リレー随想」寄稿依頼がありました。

前回依頼を受けたのは、丁度4年前の同時期で「平成20年、子(ねずみ)年に思う事」というタイトルで書かしてもらったことを覚えています。

今4年前に書いた原稿を改めて読み返してみると、たかが4年前、されど4年前、世の中の移り変わりの早さにただただ驚くばかりです。この4年間にいろんな事、それも想定外の事がいかに多く起こっているか？少しばかり例をあげてみよう。

依然としてデフレが続いています。1999年～2005年。2009年から現在に至るまで消費者物価指数が前年より下回っています。代わり映えしない状態が続いています。景気が良くなったという実感は全くありません。こんな状態の続いている時にあの忘れもしない、いや忘れてはいけない東日本大震災が起きました。死者数15,844人、行方不明者3,451人、重軽傷者数5,890人（平成24年1月4日現在警察庁緊急災害警備本部（広報資料）より）という大震災。そして津波により、発生した福島原発事故。その事故により多くの人々に言葉に言い表せない苦労の連続を強いているのです。

想定外の事と人は言うが、それではどんなことを想定していたのだろうか？しかし、こんな状況下でも人々は「助け合う」という心を発揮し、人間の素晴らしい一面を見せてくれたのです。

目を政治に移せば、2009年8月に行なわれた第45回衆議院議員総選挙では、民主党が大勝しました。与党、野党が入れ替わったのです。歴史的な出来事が起こったのです。停滞していた政治に風穴を開けてくれると期待したのですが、その後の成果はご案内の通りです。

ねじれ国会はそのまま何も変わってはいないのです。システムが悪いのか？それとも人間の知恵が時代の流れに合わなくなったのでしょうか？しかし、2011年11月に行なわれた大阪市長・知事選挙においては「大阪維新の会」が推す市長と知事が誕生しました。何かが強く動く、何かが変わる気配が感じられます。リーダーとはどうあるべきか？何をどのように発信するべきか？などなど勉強させられる事が多くありました。

産業界では、オリンパスの損失隠し、大王製紙問題など世間を騒がせました。会社を経営する者の1人として心すべき事だと思います。しかし、考えてみれば、これらの事柄は起こるべくして起こったような気がします。何かがどこかで歯車が狂ってきているのか、または生き方を見失っているのか「暗い事が多すぎる」気がします。社会の各システムや考え方、発想を見直す時期にさしかかっているのでしょうか？

これらの事を見たり、聞いたりするにつけ、次のような言葉を思い出します。

有名なチャールズ・チャップリンの次の言葉です。チャップリンとは、1900年前半に多くの映画を製作したあのチャップリンです。

“世界は全人類が暮らせるほど豊かで皆に恵みを与えてくれる。人生は自由で美しい。しかし、私たちは生き方を見失ってしまった。欲が人の魂を毒し、憎しみと共に世界を閉鎖し、不幸、悲惨へと私たちを行進させた。私たちはスピードを手に入れ、自分自身を孤立させた。ゆとりを与えてくれる機械により貧困を作り上げてしまった。知識は私たちを皮肉にし、知恵は私たちを冷たく、無情にした。私たちは考えすぎ、感じなさ過ぎる。機械よりも人類愛が必要なのだ。

人類の魂には翼があったんだ。今飛び始めた。虹の中にも飛び始めた。未来の希望の光に向けて。希望に満ちた未来が我々人類のもとに。だから上を見上げてごらん。だから上を見上げてごらん——。”

今年こそ、良い年になりますように。光を求めて希望の未来に向かって健康に気をつけて進みたいと思います。

次号は、高田製薬株の高田会長にお願いします。



## お知らせ

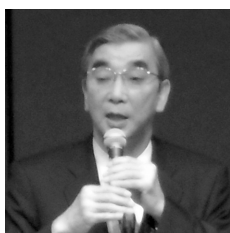
### ☆ 平成24年新年講演会・祝賀会報告

当協会は、平成24年の年頭にあたり、新年講演会を開催いたしました。

講師には、国際医療福祉大学大学院教授 渡辺俊介先生をお招きし会員企業より約130名の参加を得て開催されました。

引き続き開催されました新年祝賀会では、GE薬協 澤井会長の挨拶に続き、参議院議員 藤井基之先生、厚生労働省 大谷泰夫医政局長、日本製薬団体連合会 木村政之理事長、日本薬剤師会 児玉孝会長より来賓祝辞を頂戴し、GE薬協 吉田副会長の乾杯のご発声の後、祝賀会に入りました。

祝賀会では、厚生労働省より二川総括審議官、鎌田経済課長、赤川審査管理課長、俵木安全対策課長、中井川國枝監視指導・麻薬対策課長、国立医薬品食品研究所より中垣企画調整主幹、PMDAより内海理事、成田理事、磯部審査マネジメント部長、斉藤一般薬等審査部長のご臨席を頂いたほか、本年度当協会の事業にご協力頂いた(財)横浜市総合保健医療センター有山診療部長も駆けつけて頂きました。また、行政からは多数のご担当官のご出席もいただき、総数200名余りにて、和やかな雰囲気のもと、盛会理に終了いたしました。



渡辺教授



澤井GE薬協会長



藤井参議院議員



大谷厚生省医政局長



木村日薬連理事長



児玉日薬会長



吉田GE薬協副会長

## ☆ 山形県「ジェネリック医薬品安心使用セミナー」

山形県健康福祉部保健薬務課主催、山形県薬剤師会・当協会後援による「ジェネリック医薬品安心使用セミナー」が開催されました。また、本セミナーは多くの保険薬局薬剤師及び病院薬剤師に参加頂けるように、平成23年12月18日に庄内地区、平成24年1月22日に村山地区の2会場で行われました。

平成23年12月18日開催

○講演1 後発医薬品とその適正使用について

ジェネリック医薬品の品質に関わる話題

四方田千佳子 氏（国立医薬品食品衛生研究所薬品部第一室長）

○講演2 保険薬局における後発医薬品導入のポイント

持続可能な医療保険制度を目指して 薬剤師の役割

山村真一 氏（プライマリーファーマシー代表取締役）

平成24年1月22日開催

○講演1 後発医薬品とその適正使用について

後発医薬品の基礎知識

緒方宏泰 氏（明治薬科大学名誉教授）

ジェネリック医薬品の安心使用促進のための取組について

松野強 氏（厚生労働省医政局経済課後発医薬品使用促進専門官）

○講演2 保険薬局における後発医薬品導入のポイント

持続可能な医療保険制度を目指して 薬剤師の役割

山村真一 氏（プライマリーファーマシー代表取締役）

今回のセミナーへはそれぞれ100名、300名と多数ご参加いただき、質疑応答の際には生物学的同等性試験データの見方や流通在庫の問題など、現場の声が多く寄せられ、明日からの後発医薬品調剤業務に即役立つ有意義なセミナーでありました。

なお、山形県のこれまでの後発医薬品関連事業としましては、後発医薬品に関する正しい知識の普及を目的とした「後発医薬品に係る検討委員会」が平成

20年度に設置され、後発医薬品の使用調査、Q&Aの作成、安心使用セミナーの開催などが行われていまして、これらの情報は山形県ホームページのサイト内検索に『ジェネリック医薬品』と入力することでご確認いただけます。

ご協力いただきました運営実務委員の皆様には、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。



## ☆ 各学術大会・イベントへの参加予定について

## ○第12回 JAPAN ドラッグストアショー（展示会）【一般向け】

開催日：2012年3月16日（金）～18日（日）

場 所：幕張メッセ

## ○CPhI Japan 2012（展示会）【医療関係者向け】

開催日：2012年3月21日（水）～23日（金）

場 所：東京ビックサイト

## ○日本薬学会132年会（展示会）【医療関係者向け】

開催日：2012年3月29日（木）～31日（土）

場 所：北海道大学

## ○日本内科学会（展示会）【医療関係者向け】

開催日：2012年4月13日（金）～15日（日）

場 所：みやこめっせ（京都）

## ○第3回日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会（セミナー）

【医療関係者向け】

開催日：2012年4月21日（土）～22日（日）

場 所：日本大学医学部キャンパス（板橋区）

## ○第59回北海道薬学大会（セミナー・展示会）【医療関係者向け】

開催日：2012年6月16日（土）～17日（日）

場 所：札幌コンベンションセンター

## ○第15回日本医薬品情報学会総会・学術大会（展示会）【医療関係者向け】

開催日：2012年7月7日（土）～8日（日）

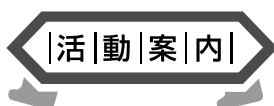
場 所：近畿大学東大阪本部キャンパス

## ○日本病院薬剤師会関東ブロック第42回学術大会（展示会）【医療関係者向け】

開催日：2012年8月11日（土）～12日（日）

場 所：パシフィコ横浜

- 九州山口薬学大会（セミナー・展示会）【医療関係者向け】  
開催日：2012年9月16日（日）～17日（月）  
場 所：北九州国際会議場
- 第54回全日本病院学会（展示会）【医療関係者向け】  
開催日：2012年9月21日（土）～22日（日）  
場 所：パシフィコ横浜
- 第45回日本薬剤師会学術大会（セミナー・展示会）【医療関係者向け】  
開催日：2012年10月7日（日）～8日（月）  
場 所：アクトシティ浜松ほか
- 第22回日本医療薬学会年会（展示会）【医療関係者向け】  
開催日：2012年10月27日（土）～28日（日）  
場 所：朱鷺メッセ（新潟）
- 第51回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会  
（展示会）【医療関係者向け】  
開催日：2012年11月10日（土）～11日（日）  
場 所：島根県民会館



### <日誌>

1月12日	総務委員会広報部会 JGAニュース編集会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
1月17日	総務委員会総務部会	〃
1月18日	総務委員会広報部会 グループリーダー会	〃
1月24日	薬事関連連絡会	〃
1月25日	品質委員会	〃
1月26日	常任理事会・理事会	東京プリンスホテル
〃	新年講演会・祝賀会	〃
1月27日	薬制委員会全体会議	ベルサール八重洲会議室

### <今月の予定>

2月 3日	くすり相談委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室
〃	くすり相談に関する全体研修会	ベルサール八重洲会議室
2月 7日	総務委員会広報部会 イベント・講演グループ会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
〃	総務委員会総務部会	〃
2月 8日	安全性委員会	ベルサール八重洲会議室
〃	総務委員会広報部会 JGAニュース編集会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
2月15日	総務委員会広報部会 グループリーダー会	メルパルク大阪
2月16日	常任理事会・理事会	新大阪ワシントンホテルプラザ
2月20日	薬事関連連絡会	日本ジェネリック製薬協会会議室
2月23日	流通適正化委員会	〃
2月24日	薬価委員会	ベルサール丸の内会議室
〃	製剤研究会	東京八重洲ホール会議室

----- / 編 / 集 / 後 / 記 / -----

私自身パワースポットを信じている一人では無いのですが、数多くのパワースポットの内、弊社近所に有る小網神社をご紹介します。

小網神社が強運の神社と言われるようになったいくつかのストーリーがテレビ番組で紹介されていました。

関東大震災のときに小網神社も大きな被害にありましたが、宮司はご神体を抱え新大橋に非難、地元の住民もたくさん新大橋に非難したが、新大橋は落ちずに助かった、と伝えられているとのこと。当時の様子が記されている記念碑もあり、そこには小網神社のご神体にお祈りをしたとあるそうです。また、東京大空襲で、この地域はほとんど焼け野原になり、小網神社のまわりも被害にあったが、小網神社だけは無傷で残ったとのこと。また、小網神社のお札をいただき出征した兵士はみな無事に生還したなど。とても偶然とは思えない何かパワーのようなものがありそうです。

小網神社（こあみじんじゃ）は、東京都中央区日本橋の神社。稲荷大神を主祭神とする。伊勢神宮を本宗として、文正元年（1466）に産業繁栄と疫病鎮静の神として鎮座された。その昔、太田道灌はこの神社に崇敬し、ときどき参拝し、社地を奉じ、社殿を造営したと言われ、小網の名も彼が付けたといわれている。また「小網町」という地名もこの神社から付けられたものである。日本橋七福神の福祿寿と弁財天が祀られている。福祿寿は福德長寿の神、また弁財天は営業隆昌、学芸成就の神として、親しまれている。5月の大祭には東部有数の神社大御輿で賑う。11月下旬には奇祭どぶろく祭りが行われる。



(T. T)

■ 編 集

日本ジェネリック製薬協会  
総務委員会広報部会

■ 発 行

日本ジェネリック製薬協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-4  
日本橋本町ビル7F  
TEL: 03-3279-1890 FAX: 03-3241-2978  
URL: www.jga.gr.jp